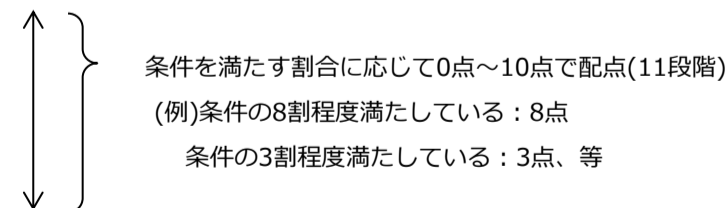


基本項目	詳細項目	配点	候補者名				
			山本太郎 	小池 百合子 	宇都宮健児 	小野泰輔 	小池 百合子(2016)
①理念	ありたい姿があるか	10	4.5	3.0	7.0	4.5	3.73
	ありたい姿を目指す理由が示されているか						
	地域の課題を踏まえた内容になっているか						
②政策の一貫性	政策が体系化されているか	10	3.0	2.0	5.0	3.0	3.77
	矛盾する政策がないか						
	地域事情にあった政策があるか						
③政策の具体性	政策が具体的な内容になっているか	20	3.5	3.0	5.0	3.5	4.13
	政策の内容は、実行可能なものか						
	政策の達成度の事後検証は可能か						
④市民起 点度	読みやすい工夫がされているか	10	5.0	4.0	5.0	4.0	3.03
	マニフェストを周知するための工夫がされているか						
	マニフェストに市民の声を取りこむ努力をしたか						
計		50	16.0	12.0	22.0	15.0	14.66
100点に換算		100	32.0	24.0	44.0	30.0	29.32
コメント		<p>今回の東京都知事選挙への立候補の動機が「なぜ東京なのか？」で語られ「政策」についても「東京8つの緊急政策」として示されているが、新型コロナウイルス対策と福祉政策が中心となり東京の将来ビジョンや成長戦略はうかがえない。</p> <p>東京五輪中止や地方債発行により財源の捻出をするのだろうが、総額15兆円の給付に加え都職員3000人増員や低廉家賃住宅支援や保育現場の処遇改善など必要度は理解するが、財政含めどのようにして実現していくのかその具体先は示されていない。</p> <p>他の候補者とは違い、動画配信だけでなく文字おこし版も掲載するなど伝える工夫には好感が持てる。</p> <p>今回は2期目の挑戦となり「東京大改革2.0」がマニフェストとなる。前回選挙で「東京大改革宣言」というスローガンを掲げたマニフェストを発表したが、その成果の検証が示されないまま今回の選挙に臨む点は残念である。「実績」として都知事在職4年間の都政の成果を数値とピクトグラムで表している点は非常にわかりやすいが、前回マニフェストとの関連がみえれば尚よかった。今回のマニフェストだが、項目だけを羅列したアジェンダの域にとどまってい具体性に欠ける。また、数値目標や激減した都の財政調整基金を含む財源に触れられていない点は不満が残る。「都民の暮らしを守る」「都民と一緒に決める」というメッセージはあるが東京の将来ビジョンが語られていない点も不十分である。</p> <p>立候補の理由と世界の中で東京都の位置づけ（ありたい姿）が示されている。政策も『コロナ災害緊急対策』と『重要政策』とに整理して示されている点でわかりやすい。また、動画掲載や街頭演説をライブ配信するなど積極的にwebも活用し伝える努力をしている点は好感が持てる。</p> <p>しかしながら、「～します。」という表記を具体的にどのように実現していくのが示されておらず、その財源はどこから捻出するのかが示されていない（一部、東京五輪中止で浮いた財源を新型コロナウイルス対策に回すとの表記はあるが）。</p> <p>「どの程度までやるのか」という数値目標も大半が示されていないため事後検証が困難である。</p> <p>熊本県副知事の経験から地方から見た東京、東京と地方との関係性を含め、今回の立候補の動機が文字だけでなく動画で掲載されている点はわかりやすく伝わりやすい。マニフェストも「6/15更新 ver.2」となっており政策の進化がうかがえる。</p> <p>その政策だが、新型コロナウイルスにより一気に進んだオンライン会議やテレワークや都民の暮らしの再建に取り組むことが中心になっている。「政治手法」を公約した点は評価したい。</p> <p>ただ、数値目標が示されていない点や行財政改革によって財源を生み出すとあるが、どれがどの程度を見込むのかが不明なため政策の実現可能性は未知数である。</p> <p>「東京大改革宣言」というスローガンを掲げているが、なぜ大改革が必要なのか問題が指摘されていない。五輪に関しても「関連予算・運営の適正化」の記載のみで、ありたい姿がない。</p> <p>また、政策ごとに、理念は書かれているが、諸施策の根拠が不明である。実行手段が不明確なため実現できるのかも懸念される。フェイスブック等を活用し細かく情報を発信している点では、伝えようという姿勢が伝わってくるが、図やイラストなどを使うとさらに効果が上がるのではないかと。</p>					

10点・・・条件を満たしている



0点・・・条件を満たしていない

※「③政策の具体性・実現可能性」は2倍の配点

※複数名によるチェックを行い、その平均点を得点として記載した

＜全体コメント＞

今回は新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの社会常識や習慣などが崩壊した。東京五輪は延期となり東京都の1兆円近くあった財政調整基金も3か月ほどで底をついた。大企業の倒産も起こり始め先の見通しが困難な社会情勢になった。

一方、外出自粛により一気に加速したオンライン事業化は瞬く間に定着し今後も進展しそうな気配である。地球規模で新型コロナウイルスによる価値の再生が求められることとなった。このような背景の中、都民の意識も自分の生活の安定に意識が行きがちであることは承知するが、**13兆円もの年間財政の東京都のリーダーを決める選挙にあたり、この程度のマニフェストしか出てこないことは非常に残念だ。**

7月5日の選挙終了日までには未だ日数がある。可能な限り、将来の東京の姿、具体的な政策の中身と実現する為のプロセスを有権者へ語ってほしい。また、今回は新型コロナウイルスの影響により今までの選挙とは少々異なる伝え方が求められるだろう。オンライン配信やオンラインによる合同個人演説会などを実施するなど新たな政策の伝え方に取り組まれることを期待したい。